



20年の実績で見る投資信託

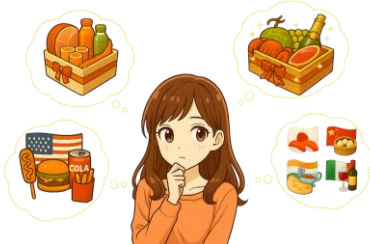
こんにちは。ファイナンシャルプランナーの中澤です。
NISA拡充後、「結局どのファンドが長期で効率よく増えるの？」というご相談が増えました。
という事で、過去20年程度の平均実績を軸に、インデックス運用とアクティブ運用、世界株式と米国株式に分けて比較していきたいと思います。
今回は少し具体的なお勉強回ですね。笑

インデックスとアクティブ

インデックスファンドは、市場全体の動きに連動する仕組みです。低コストで幅広く投資でき、安心感がありますが、伸び悩み企業や衰退産業も含まれる点は注意が必要です。
例えるならこれは「スーパーの詰め合わせセット」です。売れ筋商品を中心にまとめてあるため、安心して手に取りやすい反面、必ずしも自分の好みに合うとは限りません。
一方、アクティブファンドはプロが調査・選別を行い、将来性や安定性を兼ね備えた企業を中心に投資します。
これは「高級デリの厳選セット」のようなもの。
余計なものを省き、質の高い食材だけを組み合わせで提供されるため、リスクを抑えつつ成果を高める工夫がされています。

米国株式と世界株式

米国株ファンドは、過去20年間で力強い成果を残してきました。ただし「アメリカ産だけで作った詰め合わせ」のように、一国に集中しているため、予期せぬトラブルが起これば全体に影響しやすい側面もあります。
世界株ファンドは、アメリカを中心にしつつ欧州やアジアなど幅広い国々も組み入れます。
つまり「世界の産地から集めた詰め合わせ」。
アメリカの要素を取り込みつつ、他の地域の成長も加わるため、全体の安定感が増します。
ただし米国株に比べると直近の利回りはやや控えめになります。



ファンド比較 (20年平均リターン)

区分	インデックス	アクティブ
世界株①	eMAXIS Slim 全世界株式 6～7%	キャピタル世界株式 約10%前後
世界株②	楽天・全世界株式 6～7%	フィデリティ世界株式 約10%前後
世界株③	eMAXIS Slim 先進国株式 7%前後	ベイリーGロイヤルマイル 約13%前後
米国株①	eMAXIS Slim S&P500 8～9%	キャピタル米国株式 約10～11%
米国株②	SBI・V・全米株式 8～9%	フィデリティ米国株式 約10～11%

毎月1万円を30年間積み立てた時：総積立額360万円
【運用後資産】平均利回り 6%時：約1000万円
平均利回り10%時：約2250万円

読み取れること

米国株は高い成果を残してきましたが、**一国集中のリスク**を抱えています。
世界株は分散効果によって**安定性を高められる**一方で、米国株より利回りは抑えられる傾向があります。
アクティブファンドは、**リスクを抑える**工夫をしながら成長性を取り込み、**市場平均を上回る成果を残してきた実績**があります。

まとめ

投資信託にはインデックスとアクティブ、米国株と世界株という複数の切り口があります。
それぞれに長所と短所があり、比較することで選択肢の広さが見えてきます。
投資信託とは、投資をプロに「信じて」「託す」ことです。
プロに任せる手法なので、投資の知識があまりない人にこそオススメなのですが、**ご自身の大切な資産をどのようなプロに任せるのかは知っておくべき**です。
長期的な資産形成を考えるうえで、**実績と特徴を理解したうえでファンドを選ぶ視点**が欠かせません。

- ・投資に関する相談
- ・相続に関する相談
- ・保険の見直し
- ・住宅ローンの借換
- ・結婚、出産等による環境変化の相談 etc.

お金に関するご相談何でも承ります。
大切なご家族様、ご友人様をご紹介ください。

著者／中澤 賢一
保有資格／クレジットカードアドバイザー®
投資診断士 相続診断士 生成AIパスポート
ファイナンシャルプランナー
2025年度MDRT成績資格会員
MAIL / fp.nakazawa.kenichi@gmail.com
TEL / 080-7359-4129